

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立野田小学校

児童数

70

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	15.28	19.28	32.75	38.08	40.68	9.53	151.79	22.58	50.49
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	15.41	19.97	36.37	38.15	37.50	9.68	145.62	16.83	56.35
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

結果の概要

【男子】

体力合計点は50.49点で、大阪市平均・全国平均をやや下回る結果となった。立ち幅跳びおよびソフトボール投げは大阪市平均・全国平均を上回り、跳躍力や投力といった瞬発的な運動能力に成果が見られた。また、上体起こしも大阪市平均とほぼ同程度であり、体幹の筋力は一定程度身につけていると考えられる。一方、20mシャトルランは大阪市平均・全国平均を下回っており、持久力に課題が見られる。反復横とびも全国平均をやや下回っており、敏捷性の向上が今後の課題である。

【女子】

体力合計点は56.35点で、大阪市平均・全国平均を上回り、全体的に高い体力水準が見られた。特にソフトボール投げは平均を大きく上回り、投力の高さが顕著である。また、上体起こしや20mシャトルラン、50m走でも平均を上回り、体幹の筋力や持久力、走力において良好な結果となった。一方、長座体前屈は平均をやや下回り、柔軟性の向上が課題である。また、反復横とびも全国平均をやや下回っており、敏捷性を高める運動の充実が必要である。

【質問調査】

「運動が好き」「やや好き」と回答した児童は、男子約95%、女子約96%と高い割合を示し、全国・大阪市平均と同程度またはそれ以上であることから、運動に対する前向きな意識が育っていると考えられる。

1週間の総運動時間が60分未満の児童は男女ともに一定数見られる。週末には男子で約100分、女子も土曜日を中心に運動時間が増えており、家庭や地域で体を動かす機会は一定確保されていると考えられるが、平日は全国・大阪市平均より運動時間が少ない日もあり、放課後等に体を動かす機会の確保が課題である。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本校では、体育の授業の充実をはじめ、「かけ足月間」や「なわとびカード」を活用した体力づくり、外遊びの奨励など、児童が日常的に運動に親しむ機会の充実に努めてきた。その結果、5年生女子では多くの種目で大阪市平均・全国平均を上回り、体力合計点も高い結果となった。特に上体起こしや20mシャトルランなどで良好な結果が見られ、取組の成果が表れている。また男子でも立ち幅とびやソフトボール投げで平均を上回った。

一方、男子の持久力や握力、柔軟性など基礎体力には課題が見られる。今後は校庭の遊具の充実を図るとともに、持久力や体幹、柔軟性を高める運動を計画的に取り入れ、基礎体力の向上と運動習慣の定着を図っていく。